

平成23年度事業計画書

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

社団法人 日本自動車機械工具協会

総 論

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、福島第一原子力発電所の放射能漏出事故が重なり、国難とも言うべき甚大な被害に見舞われました。また、海外においては、チュニジアの政変に端を発した中東・北アフリカ諸国の政情不安から原油価格の上昇なども懸念され、我が国経済は先行き不透明な情勢にあります。

一方、国内の自動車市場ではHV・EVの本格的な投入及びエコカー補助金等により新車販売は一時的に持ち直したものの、補助金終了後は販売台数が減少傾向に転じております。

そのような中、自動車整備業界においては平成21年度の総整備売上高が3年連続で減少し、また、当協会会員の同年度における自動車機械工具の販売高も、前年度比マイナス18%という過去にない大幅な落ち込みとなり、機械工具業界を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いております。

当協会はこうした状況下において、今年度は以下の事業について重点的に取り組んでまいります。

まず、一昨年開催を延期したオートサービスショーを、4年ぶりに東京ビッグサイトにおいて開催します。今回の「第32回オートサービスショー2011」は、6月17日から19日までの3日間、「安全と環境を守る 整備機器」をテーマに、技術革新の進む自動車の整備に対応する最新機器を展示し、来場者の期待に応えるとともに成功裏に終えるように取り組みます。

次に、新しい公益法人制度への対応については、平成25年11月末までに行わなければならないため、当協会は一般社団法人への移行を目指し対処方針を定めて準備を行ってまいりましたが、引き続きその準備を進め、今年度前半に一般社団法人への移行認可申請を内閣府に対して行うこととします。

当協会の主要事業である自動車検査用機器の校正事業では、顧客サービスの一層の向上を図るため、新たに校正手数料を口座振替でも支払っていただくことができるようにするほか、校正実施形態（日帰り、直行直帰、宿泊等）の見直しによる業務の効率化及び経費節減に取り組み、校正業務の合理化を推進します。

東日本大震災の校正業務への影響についても、適時的確に対応してまいります。

また、自動車検査独立行政法人が進めている前照灯の測定方法及びブレーキ検査の改善等に対し、昨年度に引き続きデータ収集等その検討作業に協力させていただくとともに、検査用機器の精度向上に関する提案を行ってまいります。

さらに、整備用リフトの使用中的事故を防止するため、昨年度に引き続き協会情報紙及びパンフレットの配布等によりリフト定期点検の必要性の啓発活動を行い、リフト点検資格者によるリフトの点検を推進します。

企画委員会、経営委員会、技術委員会及び各部会においても、先に述べた事業活動とともに自動車機械工具に関する諸課題に取り組みます。

なお、当協会本部の建物は建築後46年が経過しておりますが、耐震調査を行った結果、耐震補強工事が必要であるため、建て替え等を含めてその対応について検討することとします。

以上の基本方針により、次の事業を平成23年度に実施します。

I 重点事業項目

は新規の項目を示す。

1. 第32回オートサービスショー2011の開催《展示会事業関係》
2. 一般社団法人への移行
3. 校正手数料の口座振替の導入《校正事業関係》
4. 校正業務の合理化推進《校正事業関係》
5. 自動車検査用機器の精度向上の提案《一般事業関係》
6. リフト定期点検の推進《一般事業関係》
7. 協会本部建物の耐震対策に関する検討

II 継続事業項目

1. 自動車検査用機械器具の校正及び基準適合性試験
《校正事業関係》
 - 1-1 自動車検査用機械器具の校正の実施
 - 1-2 校正実績の統計及び分析
 - 1-3 校正用器具の研究・開発
 - 1-4 校正員教習及び研修の実施
 - 1-5 校正要領等の検討
 - 1-6 校正に係わる事務作業のコンピュータシステム化推進《試験事業関係》
 - 1-7 自動車検査用機械器具の基準適合性試験の実施
 - 1-8 基準適合性試験の実績の統計及び分析
 - 1-9 基準適合性試験用器具の研究・開発
 - 1-10 基準適合性試験実施要領等の検討
 - 1-11 基準適合性試験用器具の校正の実施
 - 1-12 自動車整備機器の受託試験の実施
2. 自動車用機械器具及び工具に関する試験・証明及び調査研究
《一般事業関係》
 - 2-1 自動車整備検査用機械器具及び工具に関する調査研究
 - (1) 前照灯試験機及びブレーキテストの機能の検討
 - (2) 自動車検査用機械器具の仕様、性能等の調査研究
 - (3) 排ガス規制に対応した自動車検査用機械器具の調査研究
 - (4) 自動車整備検査用機械器具の事故調査の実施
 - (5) 自動車整備事業者の要望事項の検討
 - (6) ダブルタイヤ用インナーボルト点検用機器の調査研究
 - (7) トルク制御可能な動力レンチの改善検討
 - 2-2 自動車検査用機械器具の計測値指示装置取付改造審査等の実施
 - 2-3 自動車整備検査用機械器具及び工具に関する調査
 - 2-4 自動車整備検査用機械器具の国内販売及び輸出入の実績調査

3. 自動車整備検査用機械器具及び工具の使用技術の向上に関する指導

《一般事業関係》

- 3-1 自動車整備検査用機械器具の事故防止対策の推進
- 3-2 自動車整備検査用機械器具の安全対策のPR
- 3-3 自動車検査独立行政法人及び軽自動車検査協会の検査員研修に講師派遣
- 3-4 海外への自動車整備・検査に係る技術協力の実施

《出版・供給事業関係》

- 3-5 自動車整備振興会CO・HCテスト校正実施者教習の実施
- 3-6 リフト点検資格者を養成するための試験の実施

4. 講習会等の開催及び刊行物の発行

《一般事業関係》

- 4-1 会員会社従業員の教育用教材の作成及び講習会の開催
- 4-2 協会情報紙「JASEAガイド」の発行

《出版・供給事業関係》

- 4-3 刊行物の発行
 - (1) 自動車検査用機械器具の構造と取扱」の発行
 - (2) 「すれ違い用前照灯測定の解説」の発行
 - (3) 「オパシメータ測定の解説」の発行

5. 関係官庁並びに関係団体との連絡調整

《一般事業関係》

- 5-1 関係官庁並びに関連団体との連絡調整
 - (1) 関係官庁並びに関連団体の主催する委員会等への委員の派遣及び会議への出席
 - (2) 関係官庁並びに関連団体の主催する行事への協力
 - (3) 関係官庁並びに関連団体との情報交換及び意見調整
- 5-2 環境規制に関する情報収集
- 5-3 地球温暖化対策への協力（エアコンプレッサ及びその周辺機器のエアリーク点検の推進）

《校正事業関係》

- 5-4 関係官庁並びに関連団体との情報交換及び意見調整
- 5-5 自動車検査員等の教習（研修）への講師派遣
- 5-6 自動車検査用機械器具の取扱い、保守管理等に関する研修会への講師派遣

6. その他本協会の目的を達するために必要な事業

《一般事業関係》

- 6-1 親睦行事の開催
- 6-2 永年勤続者表彰の実施

《出版・供給事業関係》

- 6-3 会員会社への物品の供給

《共通事業関係》

- 6-4 関係団体との連携の充実
- 6-5 協会従業員の研修の充実
- 6-6 事務局業務の合理化推進